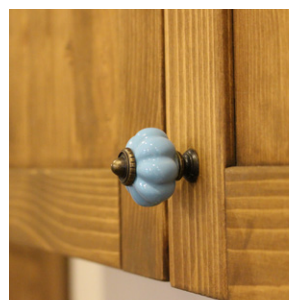


「こんな家を建てたい」という思いを実現したつくり。
「奥さんのお気に入りが自分のお気に入り。」



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.031
カムホームストーリー
高知市・Hさま邸
竣工:2014年4月
設計担当:福井 美絵



「山本さんじゃなかったら、きっと建ててなかったろうね」

中学生の息子さんと3人で暮らすHさまのお宅。お子さんが大きくなり、長年考えていたマイホームを建てることに。「決め手はスタッフさんですね」とおっしゃるHさまとタイセイホームとの出会いは、今から約5年前のこと。奥さまの目にとまったのは、スタッフの顔写真が載った「売込みしません」という新聞広告でした。それまで、他社の見学会に参加したあとに自宅訪問をされるなどの苦い経験から、「見学会には行かないほうがいいと思っていたけど、奥さんが珍しく行きたいと言い出すもんだから…」と、重い腰を上げた旦那さま。見学会で最初に話をしたのが、後に担当となる山本（お客さまサポーター）でした。当時、転職したばかりだった旦那さまは、同じくタイセイホームに入社したばかりの山本と意気投合。「担当が山本さんじゃなかったら、きっと建ててなかったろうね」と、大事な時は背中を押してくれ、無理強いせずに待ってくれたという山本に信頼を寄せます。奥さまもまた、「あの時、趣味の話で盛り上がりましたよね」と、設計コーディネートを担当した福井と、たのしい思い出が残る出逢いの日を振り返ります。

「奥さんに満足してもらうために建てた家だから」

内装は、奥さまの「こんな家を建てたい」という思いを実現したつくり。ダイニングとリビングの間に筋交いをみせた間仕切り壁でそれぞれの空間をつくり、飾り棚としても活用できるようにしました。家族と向き合える対面式のキッチンには、カウンター上に吊るしたデザインの違うピーズ照明と、アクセントを利かすアイアン棚受け。キッチン側面の飾り棚は、かわいいうち窓デザインです。「好きなものを詰め込んだ一番のお気に入り」というまるで雑貨屋さんのようなリビングは、見るものに飽きさせない、奥さまの夢の空間が広がります。こんどは旦那さまにお家のお気に入りポイントを伺うと、「奥さんのお気に入りが入り自分のお気に入り。奥さんに満足してもらうために建てた家だから」と、やさしい表情を浮かべます。「でも強いて言うなら…」と、身長の高い奥さまに合わせてつくったオーダーのキッチンに「たまに立った時低くないからラク」と、生活に密着する水回りの使い勝手に満足のご様子です。

「今まで知らなかったけど、すごく気に入っちゃう」

「奥さんは一階で好きなように、僕は自分の空間で好きなように」と旦那さまが話すのは、趣味の映画を80inchの大型テレビで楽しめるシアタールーム。すぐ隣には、カーテンで仕切ることのできる書斎も完備しました。ただ、「書斎も完全個室にしておいたら、子どもが隣でテレビを見ても気にせず仕事に集中できたかも」と振り返ります。そんな旦那さまから、これからお家を建てるご家族へ「建築中の現場へたくさん足を運んで、頭の中で住んでみるのが大事」とアドバイス。こうしておけば…と住んでみて初めて分かることをできるだけ減らすためだと言います。また、「既製品のカウンターは触りたくないぐらい冷たくてベタベタしていたけど、無垢のカウンターは気持ちが良い」と、自然素材の肌触り、湿度、やわらかさに「今まで知らなかった、すごく気に入っちゃう」と頷く旦那さまです。

葉っぱについた雫がキラキラと輝く雨の日のお庭。「つつい夢中になってしまおう」という奥さまの趣味はガーデニング。「以前の住まいでできなかった“憧れの地植え”ができるようになりました」とうれしそうに話す奥さまの隣で、「疲れた手をマッサージさせられる(笑)」と笑う旦那さま。仲の良いHさまご夫妻に、つついこちらも笑顔がこぼれます。素敵なお庭に引き寄せられ、小鳥がパードバスに水浴びにくることもあったとか。わが家で刻まれる一つひとつの思い出に、優しさが寄り添うHさまご家族の暮らしです。